

# 獣害対策から発展した美しい山里づくりの取組

河和田東部美しい山里の会

鯖江市の河和田東部地区（上河内、沢、尾花、東清水）の鳥獣被害対策連絡会が中心になって「河和田東部美しい山里の会」を設立。各集落と連携しつつ、獣害対策として、山際の電気柵設置・若狭牛の里山放牧などの獣害対策を実施しています。

さらに、地域資源活用、共生対流推進などに地域一体となって取り組むことにより、河和田地区および周辺地域の活性化を通じた美しい山里づくり（里地里山の再生・保全）を目指しています。

## ○若狭牛の里山放牧

地域の4集落が協力して、イノシシ用電気柵の設置を行ってきたが、その効果をあげるため、<sup>ひらすあるいあ</sup> + α の取組としてウシの放牧を実施しました。

これにより、緩衝地帯（バッファゾーン）が形成され、人と野生動物との住み分けの境界線となり、野生動物が里地に侵入しにくくなります。

放牧期間：6月～11月末（約半年間）

放牧面積：約4.5ha 数箇所を転々と移牧

山林、遊休農地、稲刈り後の田んぼ（2番穂利用）など



こんにちは！



放牧開始の日



山際スッキリ！



保育園の「秋の遠足」



### 地域の活性化

- ・子どもの情操教育に役立ちます。
- ・憩いの場を提供し、生き甲斐、癒しの効果があります。

★ウシの放牧により、イノシシたちの居心地の悪い、住みにくい環境が作り出されました。（ヒト陣地の回復）

- ・イノシシの隠れ家となっていた雑木・雑草が刈り取られ、見通しがよくなりました。
- ・放牧期間中は、地域内外の多くの方が、里山に頻りに訪れるようになりました。



放牧前



放牧後

放牧前後の様子



すごすご...



イノシシ退散！

### 農地や山林の草刈りの省力化

- ・人の代わりに牛が草刈りをするので、草刈り作業が軽減されました。

今後も活動を継続し、人が足繁く通り里山をおおいに活用することで、里山を再生・保全していきます。

## ○地域資源活用

- ・今のところ活用している地域資源は豊富な草資源ですが、里山こそ地域の最大資源、いろんな活用法をみんなで考えていきます。



## ○共生対流推進

- ・不耕作地を利用して野菜づくり＝県内全域から参加、循環型の食育体験。
- ・「山里の会」として地域のお祭りに参加し、コンニャク田楽の販売とウシ放牧のPRを行いました。
- ・平成21年は「丑年」。「年賀状撮影会」を実施しました。
- ・山林の適正管理および放牧地拡張のため、間伐を実施しました。